

## 成果の説明書

(氏名)夏苺 佐宜	(学部)経済学部
1 重要事項	
研究活動	
1) 個人研究	
<p>英語教育と第二言語習得に関して研究を続けています。2023年度については、これまで数年間にわたって実施してきた研究テーマの一つである語彙習得に関する調査について、全国英語教育学会第48回香川研究大会(2023年8月19日、会場:香川大学)にて口頭発表いたしました。また、文書の形で現在発表に向けて準備をしています。</p> <p>2023年度後期にはタスクとインプットに関する探索的な調査の計画を作成し、データ収集を実施しました。2024年度にデータ分析を実施する予定です。</p>	
2) 学会活動	
<p>JACET SLA 研究会の月例読書会やワークショップに参加し、語用論について学ぶ機会を定期的に得ました。10月の読書会では <i>The Routledge Handbook of Second Language Acquisition and Pragmatics (2019)</i> の22章を担当しました。また、<i>The 62<sup>nd</sup> JACET International Convention</i> (8月30日、会場:明治大学)に参加しました。</p>	
B. 教育活動	
<p>英語担当教員としてまた2023年度英語部会長としてカリキュラム運営に参画し、以下の活動を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- 2023年度のカリキュラム運営に関する業務全般</li><li>- 2024年度のカリキュラム運営に向けての準備業務全般</li><li>- 月例英語部会の開催</li><li>- 英語必修科目 <i>General English I, II (Pre-Intermediate)</i>、<i>Business English III, IV (Intermediate)</i> のコーディネーター業務</li><li>- 英語選択科目のコーディネーター業務<ul style="list-style-type: none"><li>a. 期末試験実施についての担当者への照会</li><li>b. シラバス執筆に関する連絡、次年度オンデマンド授業に関する書類の英訳と周知</li></ul></li></ul>	
2 その他の事項	
3 次年度以降の計画・抱負	
<p>個人研究については、論文の発表と2023年度に実施した調査のデータ分析を行い、最終的には研究の成果を口頭発表や論文などの形で発表していく予定です。</p> <p>また、2023年度に調査や学会活動を通して新たな知識を得ることができました。次年</p>	

度も言語習得の理論や英語教育法の知見を授業に実際に取り入れ、授業における学習者の自発的な発話を増やすことや、発話を通して言語知識を習得していくことのできるよう、英語教育の実践に活かしていきたいと思います。